



Hasetora Linen Service

Eco Action 21

Environmental Management Report

Ver 10.1

2017/10/01-2018/09/30

Created Date: 2019/03/11

Revised Date: 2019/09/04



目次

1. 組織の概要とエコアクション21の対象範囲
2. 環境経営方針
3. 実施体制
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
6. 環境経営目標の達成状況
7. 環境経営計画の取組結果とその評価
8. 次年度の環境経営目標
9. 次年度の環境経営計画
10. 環境関連法規などの取りまとめと順守状況の結果
11. 代表者による全体の評価と見直し



組織の概要とエコアクション21の対象範囲

組織の概要

- | | | |
|----|------------|------------------------------------------|
| 1. | 事業者名 | 株式会社長谷虎リネンサービス |
| 2. | 代表者名 | 代表取締役社長 長谷和治 |
| 3. | 環境管理責任者 | 専務取締役 長谷篤治 |
| 4. | 本社所在地 | 〒501-6236 |
| | (登記上のみ) | 岐阜県羽島市江吉良町197-1 |
| 5. | 大阪営業所所在地 | 〒541-0043 |
| | | 大阪府大阪市中央区高麗橋4-6-15 長谷虎ビル 2F |
| 6. | 東京営業所所在地 | 〒108-0014 |
| | | 東京都港区芝4-11-5 田町ハラビル 8F |
| 7. | お問い合わせ先 | TEL:06-6204-4132 |
| | | FAX:06-6204-4144 |
| | | E-mail:hls-osk@hasetora.co.jp |
| 8. | 事業の規模 | |
| | 8-1. 資本金 | 7,600万円 |
| | 8-2. 従業員数 | 14人 (2017年9月時の在籍者数) |
| | 8-3. 事業所面積 | 大阪44m ² 、東京18.9m ² |

エコアクション21の対象範囲

- | | | |
|----|---------|---------------------------------------|
| 1. | 対象事業所 | 大阪営業所、東京営業所 |
| 2. | 対象要員 | 大阪営業所11名 (社長、専務、取締役含む)、東京営業所4名 |
| 3. | 対象期間 | 2017年10月～2018年9月 |
| 4. | 対象活動 | 繊維製品及び繊維原料並びに原糸の企画販売、布帛製品・メリヤス製品の企画販売 |
| 5. | レポート発行日 | 3月頃 |



環境経営方針

制定日:2009/09/05

改定日:2018/07/09

株式会社長谷虎リネンサービスはお客様や仕入先である相手も善し、従業員も含め自分も善し、回りの社会や環境にも善しという「三方善し」に基づき、会社の理想である「自他の品性を完成し、相互の幸福を増進し、世界の文化に曾益し、現世に天国・楽土を来す」ことを目指します。

また、次にあげる3つの事業において製品の調達・製造から洗濯、廃棄や、営業等の管理業務に伴うムリ・ムラ・ムダを減らすことで環境への負荷の低減を目指します。

私たちの3つの事業内容

1. リネン分野

ホテルや病院、介護施設等で使うリネン資材（シーツ、タオル等）をリネンサプライヤーへ企画・販売すること

2. ダストコントロール分野

モップやウェス等のダストコントロール商品を企画・販売すること

3. 機能性商品分野

弾性ストッキングなどの機能性商品を企画・販売すること

私たちの事業を取り巻く状況

リネン分野では訪日外国人観光客の増加やオリンピック等に向けて、ホテルの増築や稼働率が上がることが見込まれます。リネン資材やベッドメイクに携わる人手も必要になってくる中でより全体的に効率を上げることができる商品が望まれています。

ダストコントロール分野では女性の社会進出や高齢化にともなって、より短い時間でさっと掃除できるモップが望まれています。

機能性商品分野では使用されるお客様のQOLがあがるような商品が望まれています。

具体的な活動内容

1. 環境関連の法規制および協定などを守ります。
2. 環境への負荷を減らすようにします。
 - 2-1. 電力の使用量、水の使用量、ゴミの排出量を減らします。
 - 2-2. グリーン購入法適合商品を買うようにします。
 - 2-3. 環境への負荷を減らせるような商品を開発、提案、販売します。
 - 2-4. 仕事のムリ・ムラ・ムダを減らします。
3. 全社員が環境経営方針にそって考働するための教育を行います。

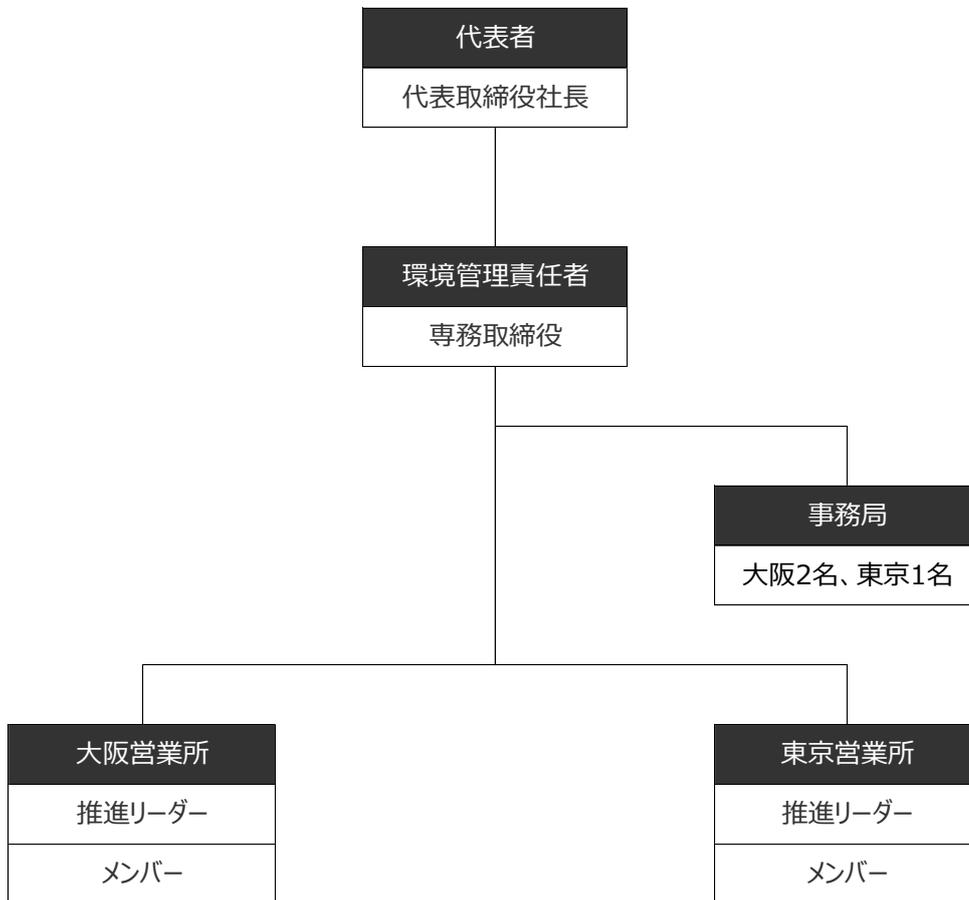
代表取締役社長 長谷和治



実施体制

作成日:2018/09/01

承認者:環境責任者、作成者:事務局



役職	担当	役割・責任・権限
代表者	代表取締役社長	環境管理システムの総責任者 環境方針を定める 環境管理責任者を任命 資源（人員・設備・費用）の準備 全体の取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	専務取締役	環境活動の取組状況の把握と確認 環境活動の取組状況を代表者に報告
事務局	大阪2名、東京1名	環境経営システムに関する記録及び文書作成 環境経営レポートの作成
推進リーダー	大阪1名、東京1名	環境活動の取組状況の推進
メンバー	全従業員	定められた活動の実施



環境経営目標

作成日:2018/09/10

承認者:環境責任者、作成者:事務局

基準数値の設定

2016~2018年	基準数値の設定	算定方法
CO2排出量	kg	7,829 電気使用量*0.294kg/kWh
電気使用量	kWh	26,628 事務所面積 (m2) *320kWh+人数*500kWh
廃棄物排出量	kg	186 前年目標から2%削減
水使用量	m3	基準なし 活動の限界に達した為、計量のみを行います
紙資源投入量	kg	227 (800枚+300カウント*人数) *20%裏紙利用
グリーン購入法適合商品割合	%	5
環境対応商品開発	品種	1

2016~2018年	基準数値	削減率	2016年	2017年	2018年	
CO2排出量	kg	7,829	2%	7,672	7,519	11,854
電気使用量	kWh	26,628	2%	26,095	25,574	25,062
廃棄物排出量	kg	186	2%	182	179	175
水使用量	m3	基準なし	--	123	123	--
紙資源投入量	kg	227	2%	222	218	214
グリーン購入法適合商品割合	%	5	--	5	5	5
環境対応商品開発	品種	1	--			1
清掃活動	回	12	--	--	--	12

2019年度以降の目標は2016~2018の活動を振り返って決定します。

CO2排出量については2018年度は大阪0.418kg/kWh、東京0.574kg/kWhで計算しています。

化学物質は使用していないので記載していません。



環境経営計画

作成日:2018/09/10

承認者:環境責任者、作成者:事務局

2018	取組内容	担当部門	対象期間
電力使用量の削減			
	毎月の電気使用量の把握	全社	一年間を通して行う
	照明・空調場所を必要な場所のみにするよう心掛ける	全社	一年間を通して行う
	空調温度を冷房28度、暖房20度にするよう心掛ける	全社	一年間を通して行う
	残業時間の短縮・定時帰社日の設定	全社	一年間を通して行う
廃棄物排出量の削減			
	毎月の廃棄物排出量の把握	全社	一年間を通して行う
	廃棄物の分別の徹底	全社	一年間を通して行う
	廃棄物の再生利用処理の向上	全社	一年間を通して行う
紙資源投入量の削減			
	毎月の紙資源投入量の把握	全社	一年間を通して行う
	ペーパーレス化の促進	全社	一年間を通して行う
	両面コピー、裏紙利用の推進	全社	一年間を通して行う
グリーン購入法適合商品の購入			
	文房具を購入する際にグリーン購入法適合品を購入するよう心掛ける	全社	
環境対応商品の普及			
	情報収集	全社	必要に応じて行う
	環境対応商品の開発	全社	必要に応じて行う
	環境対応商品の提案	全社	必要に応じて行う
	環境対応商品の販売	全社	必要に応じて行う
清掃活動			
	大阪営業所周辺の清掃活動	大阪	一年間を通して行う



環境経営目標とその実績

過去の実績

2012~2017		2013	2014	2015	2016	2017
CO2排出量	kg	7,907	7,809	7,790	7,525	7,808
電気使用量	kWh	26,894	26,562	26,498	25,594	26,558
廃棄物排出量	kg	188.4	185.8	185.8	192.1	207.
水使用量	m3	124.1	122.3	129.2	110.3	110.9
紙資源使用量	kg	103.3	99.9	219.8	227.7	230.7
グリーン購入法適合商品割合	%	--	4%	7%	8%	12%
環境対応商品開発	品種	0	0	0	0	1

今期の実績

2018		目標	実績	達成率	
CO2排出量	kg	11,854	12,239	+	3.2%
電気使用量	kWh	25,533	27,238	+	6.7%
廃棄物排出量	kg	175.0	219.9	+	25.7%
水使用量	m3	0.0	104.5	--	--
紙資源使用量	kg	225.3	249.8	+	10.9%
グリーン購入法適合商品割合	%	5.0%	5.6%	+	12.1%
環境対応商品開発	品種	1	0		
清掃活動	回	12	10	-	-16.7%

CO2排出量については2018年度から大阪0.418kg/kWh、東京0.574kg/kWhで計算しています。



環境経営計画の取組結果とその評価

	2017						2018					
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9

電力使用量の削減

評価 例年より多いわけではありませんが、何か新しい取り組みを増やさないと削減は難しいと考えられます。

毎月の電力使用量の把握

計画							運用					
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

照明・空調場所を必要な場所のみにするよう心掛ける

計画							運用					
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

取組
結果

空調温度を冷房28度、暖房20度にするよう心掛ける

計画							運用					
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

残業時間の短縮・定時帰社日の設定

計画							運用					
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

廃棄物排出量の削減

評価 紙の使用量とともに増加傾向にあります。いかに紙を減らすかがカギです。活動が目標を見直しをする必要があります。

毎月の廃棄物排出量の把握

計画							運用					
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

廃棄物の分別の徹底

取組
結果

計画							運用					
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

廃棄物の再生利用処理の向上

計画							運用					
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



環境経営計画の取組結果とその評価

	2017					2018							
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

紙資源投入量の削減

評価 ペーパーレス化は進んでいるものの、絶対量が年々増加しています。活動が目標を見直しをする必要があります。

毎月の紙資源投入量の把握

	計画					運用								
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ペーパーレス化の促進

取組結果	計画					運用								
	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

両面コピー、裏紙利用の推進

	計画					運用								
実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

グリーン購入法適合商品の購入

評価 規模自体は小さいものの、順調に活動できています。金額の大きなアイテムについては一度見直しをします。

文房具を購入する際にグリーン購入法適合品かを調べる

取組結果	計画					運用								
	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

環境対応商品の普及

評価 耐久性の向上と軽量化でお客様にとっての使いやすさと環境への負荷の低減の両方を叶えられた。今後も継続して取り組むテーマにします。

情報収集、開発、提案、販売

取組結果	計画					運用								
	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

清掃活動

評価 今後も継続して行うようにします。

大阪営業所周辺の清掃活動

取組結果	計画					運用								
	実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



環境経営目標

基準数値の設定

2019	基準数値の設定		算定方法
電気使用量	kWh	27,238	2018年の実績に基づく
廃棄物排出量	kg	220	2018年の実績に基づく
水使用量	m3	105	2018年の実績に基づく
紙資源投入量	kg	250	2018年の実績に基づく
グリーン購入法適合商品割合	%	5	
環境対応商品開発	品種	1	

*2019～2021年は前年の実績を越えないように目標を設定する



環境経営計画

作成日:2018/09/10

承認者:環境責任者、作成者:事務局

2019	取組内容	担当部門	対象期間
電力使用量の削減			
	毎月の電気使用量の把握	全社	一年間を通して行う
	照明・空調場所を必要な場所のみにするよう心掛ける	全社	一年間を通して行う
	空調温度を冷房28度、暖房20度にするよう心掛ける	全社	一年間を通して行う
	残業時間の短縮・定時帰社日の設定	全社	一年間を通して行う
廃棄物排出量の削減			
	毎月の廃棄物排出量の把握	全社	一年間を通して行う
	廃棄物の分別の徹底	全社	一年間を通して行う
	廃棄物の再生利用処理の向上	全社	一年間を通して行う
紙資源投入量の削減			
	毎月の紙資源投入量の把握	全社	一年間を通して行う
	ペーパーレス化の促進	全社	一年間を通して行う
	両面コピー、裏紙利用の推進	全社	一年間を通して行う
グリーン購入法適合商品の購入			
	文房具を購入する際にグリーン購入法適合品を購入するよう心掛ける	全社	
環境対応商品の普及			
	情報収集	全社	必要に応じて行う
	環境対応商品の開発	全社	必要に応じて行う
	環境対応商品の提案	全社	必要に応じて行う
	環境対応商品の販売	全社	必要に応じて行う
清掃活動			
	大阪営業所周辺の清掃活動	大阪	一年間を通して行う



環境関連法規などの取りまとめと遵守状況の結果

作成日:2018/09/10

承認者:環境責任者、作成者:事務局

当社において、下記の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、各関係機関からの違反、訴訟の指摘、外部からの訴訟及び苦情等も過去3年間ありませんでした。

No.	区分	法令等の名称	制定 改定日	環境側面	関連 部門	法令等の要求事項	確認
1	法律	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		廃棄物（一般）	全社	廃棄物の分別、業者の許可書確認	03/05 09/10
2	法律	資源の有効な利用の促進に関する法律		事務機器の使用について	全社	パソコン廃棄時はメーカー指定方法による	03/05 09/10
3	条例	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例			東京	家庭用電気機器等のエネルギーの使用の合理化	03/05 09/10



代表者による全体の評価と見直し

作成日:2018/11/05

評価者:代表者、作成者:事務局

評価

	事務局からの報告事項	代表者からの指示事項
環境経営目標の達成状況	ほとんどの項目を達成できませんでした。特に紙資源使用量と、それに伴う廃棄物が増加傾向にあります。	2019~2022年の環境経営目標を定める時に適正な目標になるようにしてください。
環境経営計画の実施運用結果	ペーパーレス化を進めましたが書類自体が増加傾向にあります。既存の取り組みだけでは計画を達成できないと考えられます。	既存の取り組みを継続すること、新しい取り組み内容を「環境への取組の自己チェック表」などを参考に検討してください。
環境関連法規などの順守状況	問題はありませんでした。	新しい法規が適用されないか確認してください。既存の法規を遵守しているかを確認してください。
外部からの環境に関する苦情や要望	問題はありませんでした。	苦情や要望があればすぐに誠実に対応してください。

見直し

	変更	詳細
環境経営方針	なし	
環境経営目標	あり	2019~2022年の3年間の目標を定めなおしてください
環境経営計画	なし	
実施体制	なし	

今後の取り組みに対する課題とチャンス

事務所内での活動には限界が見られるので、サプライチェーンを通してムリ・ムラ・ムダを減らすことや、5S活動などを行うこと検討する